

令和6年度第2回社会教育委員会議 要点録

日 時：令和7年1月24日 午前10時から午11時30分まで

場 所：摂津市役所 新館6階 601会議室

出席者：委員8名、事務局3名（生涯学習課職員）

案件

- (1) 令和7年度摂津市教育推進プランの作成について
- (2) 令和7年度生涯学習課主要事業について
- (3) 第5次摂津市子ども読書活動推進計画策定の進捗状況について

- (1) 令和7年度摂津市教育推進プランの作成について

(事務局) 令和7年度摂津市教育推進プランの生涯学習課の事業を説明。

(委 員) 摂津市史編さん事業について、摂津市史の閲覧・購入場所の周知を強化してほしい。そうすれば、市民がもっと身近に感じることができると考える。

(委 員) せつつ生涯学習大学事業について、「まちづくりについて考える機会になったか」というアンケートのみではなく、そこで学んだ内容をどう生かしていくのか、また、コーディネーター・リーダーになるにはどうしていくべきなのかということを検討すべきである。

(委 員) 公民館講座開催事業について、高齢化・クラブの人数の減少を感じている。講座の数やジャンルを考えるべきではないか。また、公民館への移動手段の確保など高齢化に沿った対応を検討すべきではないのか。

(事務局) 特定の年齢層に特化した講座のみにすることは社会教育施設である公民館としては難しい。しかし、人気の講座を継続することや、狂言のワークショップなど新規講座を実施している。市民の要望を取り入れ、様々な講座を実施していく必要はあると考える。

(委 員) 公民館のイベントは平日開催であり、学生や働いている方は参加することができないと思われる。子ども連れの方など誰もが利用できるように講座の時間帯や環境面を整えていくべきと考える。

(2) 令和7年度生涯学習課主要事業について

(事務局) 令和7年度生涯学習課主要事業を説明。

(委員) 生涯学習フェスティバル開催事業について、生涯学習フェスティバルのろうそくファンタジーと社会教育がどのようにかかわっているのかを精査する必要があると考える。

(委員) こども会育成事業について、こども会の実情についてお教えいただきたい。

(事務局) こども会に加入している小学生は全小学生のうち、約10%未満かと思われる。また、団体数も昭和から令和にかけて5分の1ほどになっている。こども会の会議についてもこども会に所属している保護者全員で実施されていたが、会議に出席が難しいという保護者が多くいるため、会議回数や招集人数も減らして実施している。現在は、野球やキックボールなどのスポーツをしているこども会が多くあるため、スポーツの体験会からこども会の活動を知ってもらう取組を行っている。

(3) 第5次摂津市子ども読書活動推進計画策定の進捗状況について

(事務局) 第5次摂津市子ども読書活動推進計画策定の進捗状況を説明。

(委員) 図書館の壁に絵画を張るなど、図書館を文化的な場所にしていくべきである。施設をハード面から変更することは難しいが、ソフト面で工夫をしていくことで文学作品を味わいやすい環境づくりができると考える。

(委員) 「どのような図書館なら行きたくくなりますか」というアンケートで、「宿題や勉強ができる」が中学生の回答が多い。これは居場所づくりという面で考えれば、図書館が重要な位置づけになると考える。

(委員) 家族で図書館に興味を持ち、気軽に楽しめるイベントがあれば良いと思う。小さなお子様連れで行くと周りの方に気を遣うから図書館へは行きにくいという保護者が多いと感じる。図書館では、子どもが普通に自然にいてよい場所であるという環境づくりをしていく必要があると考える。

(委員) ブックスタート事業は昔から実施されており、保護者に評価されている事業と感じる。本に印刷で子どもの名前を入れるなど新しい試みを実施するのもよいのではないかと考える。

以上